■==========■
■　　■
■ ◆■◆■　フ ラ ン チ ャ イ ズ ・ ニ ュ ー ス　2007.10.16　■◆■◆ ■
■　　■
■==========■

発行者：株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長　内 川　昭 比 古

本物のフランチャイズ・ビジネスの、普及・啓蒙活動を通して社会に貢献する事を経営理念とする、日本フランチャイズ総合研究所が発信するフランチャイズ・ニュースです。

最新のフランチャイズ業界情報から、記事の裏側まで、業界に精通したコンサルタント達が、皆様のお役に立つため、ちょっと役立つ情報をご提供いたします。

==== 2007.10.16号 ========== 目　　次 ==========

<<< 業 界 情 報 >>>>

１：加盟のための心構え

まず最初に自分自身のことを整理しておきます。
これから山あり、谷ありとなりますので、やる気、決意は大丈夫か、概算資金はどの程度あるのか、パートナー（奥様や家族）の理解は得られているか、自分の適性は何か、自分のやりたい分野・業種・業態は何なのかなどを整理したうえで箇条書きにメモしておきましょう。

次にフランチャイズ・ビジネスの基礎を勉強します。己を知り敵を知ることです。社会環境や経済環境といった一般知識を皮切りに、フランチャイズ・ビジネスとは何か、基本的な考え方や用語といったものを知識として習得し、フランチャイズ・チェーン本部の情報を理解するための準備が必要となります。フランチャイズ・チェーン本部は当然のことながらフランチャイズ・ビジネスのプロ集団ですから、いわれている言葉、書いてある言葉が理解できませんと立場が弱くなってしまいます。

拙著「フランチャイズ・ビジネスの実際」はフランチャイズ全般の知識が系統立てて整理してありますので、全体を把握する入門書として最適と自負しております。

２：フランチャイズ・チェーン本部の情報収集

ここでは分野・業種･業態を問わず、幅広く情報を収集します。
新聞･雑誌やセミナー・フェアをうまく活用するのが一般的ですが、やはりインターネットでフランチャイズ・チェーン本部のホームページを閲覧することが最も有効的です。フランチャイズ・チェーン本部のホームページはさまざまで、大手フランチャイズ・チェーンのホームページは専門家による作成ですのできれいでわかりやすい構成となっております。新規参入の本部は自前で作っているところが多く、手作り感のあるストレートなつくりです。チェックポイントは、法定開示すべき項目がしっかりと載っているか、加盟に必要な資金等が記載されているか、常に新しい情報が載っているかなどです。

客観的なデータとしてお勧めしておきたいのが、（社）日本フランチャイズチェーン協会が運営している「ザ･フランチャイズ」（ http://frn.jfa-fc.or.jp ）です。基礎知識やフランチャイズ・チェーン本部の主要データがそろっており、本部の概要を比較検討するのに便利です。

情報収集のポイントは、自分ひとりで業種や業態、企業を絞り込まないことです。自分の適性は重要ですが、その業界の動向や将来性、シェアなど客観的な情報を積み重ね、現状をきちんと把握した上で選択、絞込みの段階へ移っていく必要があります。そのために、第三者の立場に立って物を見ていける人や機関を利用することも考えておきます。

次回は、３：フランチャイズ・チェーン本部の候補選定　４：フランチャイズ・チェーン本部の訪問　をご説明いたします。

● Chapter 02 ●□□□

紹介しましょう。
◎ PIZZA RODEO（グルメ・レストラン）［ロデオ２］
◎ THE FISH HOUSE（ライト＆ヘルシー・レストラン）［ロデオ２］
◎ IL FORNAILO（グルメ・レストラン：イタリアン）［ビバリー・ドライブ］
◎ BALDUCCS TRATORIA（グルメ・レストラン：イタリアン）［ビバリー・ドライブ］
◎ CHEESE CAKE FACTORY（エキサイティング・レストラン）［ビバリー・ドライブ］

to be continued

● Chapter 03 ●□□□

足立政男の研究は、その著書「近世京都商人の別家制度」のなかで、のれん分けや別家について、「別家とは近世以降主として商家において、主家に対して称するものであって、大体継ぎの３種類があります。

第一は、丁稚が多年（普通 20 年）忠勤を励んだ功労により、別宅を許され、通い奉公をなすものにして、斯かる番頭は終身使用人たるのみならず、子々孫々主家に仕えるものでありました。

第二は主家若しくは自己の都合により別宅通勤を許され、別家の待遇を受けるものにして、第三は主家より若干の資本と暖簾とを分けた独立の商人となるのでありました。

第三の場合は、丁稚制度の終局であり、１個の独立企業者の地位に昇ることによって、永年に亘る丁稚生活が真に意味づけられるものです。別家に際して主家より同業者に仲間入りを願い出て、披露するのを常とし、また資本を与え、顧客乃至販売地域の分与をなす例としていました。

斯く企業者として独立しても、なお主家に対しては封建的主従関係にあることはもちろんで、１日、15 日には主家にご機嫌伺いとして罷り出て、吉凶の際は万事手伝うことを義務づけられていたのです。」と説明されています。

〈3〉中世が起源

このように「フランチャイズ」については、ビジネスやシステムにまで至っていませんが、その萌芽は中世に見ることができます。

「ギルド」、「座」、「株仲間」などは、いずれもその目的は同業者の組織化であって、独占的な利益を確保していこうとする排他的な流通の組織化であり、「別家」の第三がいわゆる暖簾分けであり、現在の「フランチャイズ・システム」にもっとも近いものでしょう。

（２）わが国の最初のフランチャイズ

わが国において、「フランチャイズ」とか、「フランチャイジング」という言葉が使われたのは、1956 年（昭和 31 年）に設立された日本コカコーラ・ボトリングといわれています。

この時代は、第２次世界大戦後 10 年経ち、戦後の混乱期を一歩抜け出した時期であって、国民は飢えを凌いで時期から、ようやく脱出して、わずかながらも楽しさを求めるようになってきた時代でした。街には徐々に洋菓子店や喫茶店が立ち並び、娯楽も映画や野球を中心にレジャーといえばハイキングや山登りが主であり、ようやく活発化し始めた時代でありました。

コカコーラは、アメリカ人の飲物であって、日本人にとって最初は薬臭いといって敬遠されたようでしたが、次第次第にあたかも麻薬のごとく若者を中心に引きつけていき、今日のように隆盛になってきたのでした。

このようにコカコーラは、国民生活の復活とともに、アメリカの飲物から日本の飲物になってきますが、コカコーラの製造や販売のシステムそのものは、「伝統的なフ

ランチャイズ・ビジネス」として、アメリカではすでに存在していたものですが、そのまま日本に採用されたのでありました。しかし、わが国においては、「フランチャイズ」とか、「フランチャイジング」という言葉は知られないままでありました。

to be continued

● Chapter 04 ●□□□

例もあります。

SS(ガソリンスタンド)POS
給油計量器と結ばれることが多く、単に会計機能だけではなくカード等と連動した顧客管理機能に力を入れ、営業販促との連携手段としていることが増えてきています。

● Chapter 05 ●□□□

会　場　　麹町志村ビル３Ｆ　ＪＣＩ研修室

セミナー内容　　フランチャイズ･ビジネスの現状から将来展望、取り組む心構え、フランチャイズ。ビジネスを進める際の課題、フランチャイズ本部構築のステップまで、具体的にわかりやすく講義いたします。

参 加 費　　10,000 円

お問合わせ先　　（株）ＪＣＩイベント事務局
http://www.jci-inc.com

「フランチャイズ本部構築セミナー」

日　時　　10 月 27 日　土曜日　10 時 ～ 17 時 30 分

講　師　　株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長　内川 昭比古

会　場　　日本フランチャイズ総合研究所　5Ｆ会議室

セミナー内容　　フランチャイズ本部構築を目指す方に、１日間の集中講義でフランチャイズ本部構築の手順、ポイントを講義するとともに、演習によりフランチャイズ本部構築の課題を明確にします。

参 加 費　　15,000 円

お問合わせ先　　日本フランチャイズ総合研究所
http://www.the-franchise.co.jp

「フランチャイズ加盟無料セミナー」

日　時　　10 月 31 日　水曜日　19 時 ～ 20 時 30 分

講　師　　株式会社 日本フランチャイズ総合研究所
代表取締役所長　内川 昭比古

会　場　　日本フランチャイズ総合研究所　5Ｆ会議室

セミナー内容　　フランチャイズに加盟し独立・開業を検討されている皆様に、フランチャイズ・ビジネスの基礎知識、加盟のポイント、本部との上手な付き合い方を紹介。また、弊社のフランチャイズ加盟サポートシステムをご紹介いたします。

参 加 費　　無 料

お問合せ先　　日本フランチャイズ総合研究所
http://www.the-franchise.co.jp

● Chapter 06 ●□□□